

北海道浮魚ニュース

平成 11(1999)年度 12 号 (通巻 No.58)

1999 年 8 月 31 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

道東太平洋スルメイカ南下期調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)により行われたスルメイカ調査結果をお知らせします。

調査期間：1999 年 8 月 23 日～ 27 日

調査海域：道東太平洋 [北緯 41 度 55 分～ 42 度 35 分、東経 144 度～ 145 度] (図 1)

道東沖合におけるスルメイカの分布は低密度 外套長モードは 23 cm

調査海域の表面水温は 18.8～22.3 で、前年より 2 程高くなっています。逆に 50m 深では 2.9～9.2 と前年より 1～2 程低くなっています。

4 調査点で漁獲試験を行い、スルメイカを合計 121 尾漁獲しました(図 1)。その他のイカ類としてはアカイカ 1 尾・ツメイカ 15 尾でした。スルメイカの CPUE (イカ釣り機 1 台で 1 時間に漁獲するイカの尾数 : こ

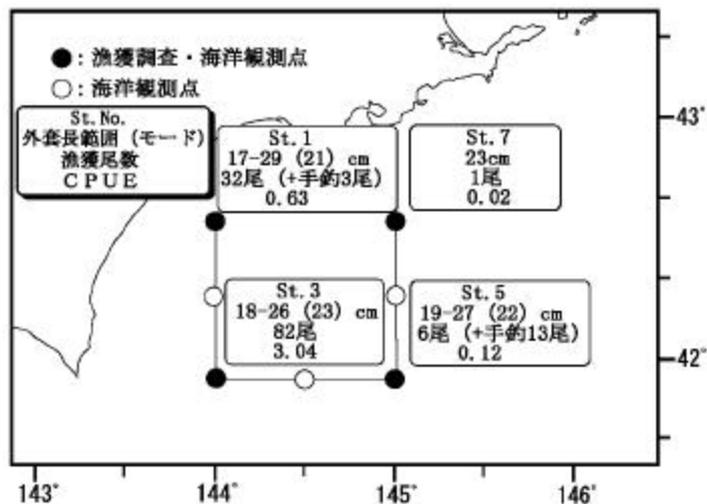


図 1 調査点と漁獲結果

の数字が大きいほどイカが多く分布している) は最も高い点で 3.04、調査全体の平均 CPUE は 0.70 でした。平均 CPUE は、漁獲のなかった前年よりも高いものの、1995 年以降では低い値でした。

スルメイカの外套長（胴長）は17～29cmの範囲で、モード（最も多く漁獲されたスルメイカの外套長）は23cmでした。

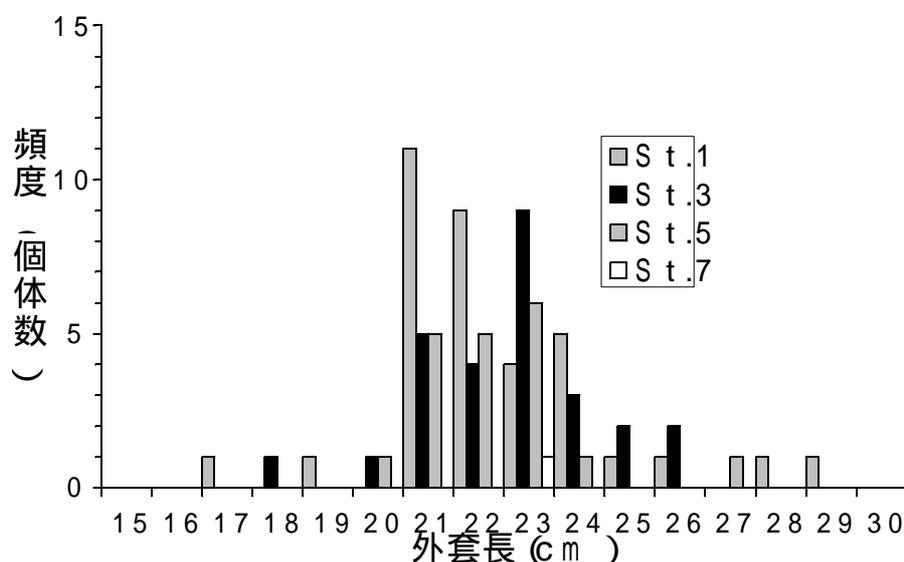


図2 スルメイカの外套長組成図

表1 イカ類南下期調査（1995～1999年、北辰丸）

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長	外套長	調査点数
			範囲 (cm)	モード (cm)	
1995年 8/28 - 9/1	591	3.08	20 - 29	23	4
1996年 8/26 - 30	617	3.02	17 - 27	22	4
1997年 8/25 - 29	3,036	17.41	17 - 25	21	4
1998年 8/21 - 26	0	0	-	-	5
1999年 8/23 - 27	121	0.70	17 - 28	22	4

今回の北辰丸の調査を含めた各機関の資料を基にして、9月17日に第2回スルメイカ漁海況予報が発表されます。漁海況予報は、発表されしだいこの浮魚ニュースで紹介します。

次回の北辰丸による調査は、8月31日～9月9日にマサバ・マイワシ漁期中調査を行います。

（文責：釧路水産試験場資源管理部
直通電話 0154-23-6222）